

中高生の部 入選

飛驒市立古川中学校 三年 平田萌子

私のふるさと飛驒市古川町は、人のあたたかさを感じることのできる町です。地域の方々と普通に日常生活を送っている中で私は人のあたたかさを感じることができています。

私が地域の方にあたたかさを感じさせてもらったのは、雨の日のことです。その日の帰りは強い雨が降っていましたが、私は傘を持っていませんでした。バスから降りたら走って帰ろうとしていた私に、バス停にみえたおばあさんが声を掛けてくださいました。「傘貸すよ。遠慮しないで。」といってくださいました。その帰り私は、おばあさん貸してくださった傘をさして帰りました。おばあさんがしてくださった対応に感謝の気持ちとあたたかい心になりました。他人だけれど地域に住んでいる一人として大切にしてもらえていると強く思いました。自分のことを大切にしてくれる人がいるから、私も自分なりの思いやり、優しさで地域の方のためになる行動をしようと思いました。なので、私はあいさつや地域のボランティアなど身近なことから、地域の方や自分のふるさとを大切にしようと心がけています。

人のあたたかさは、思いやりの心からきていると思います。私のふるさと飛驒市古川町は、人のあたたかさを感じることのできる町です。自分の住んでいる所だから、自分だけが快適に暮らせれば、という考えを持つ人がいるとあたたかさを感じる場所とはいえないと思います。地域に住んでいる人同士で助け合い、思い合えているからこそあたたかさがある町だといえます。

ここ飛驒市古川町には、道路にゴミが落ちている、ということはないといえるほど少ないと思います。このようなことは当たり前ではありません。町をきれいにしようとしてくれる人の優しさで古川に住んでいる人は気持ちよく過ごせていると思います。自分たちの心で自分たちの町をよりよくしたいという人の気持ちから人々のあたたかさを感じることもできる町です。